

令和6年度上大久保中学校だより

上中だより

第9号

令和7年1月7日(火)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

2025年スタート!!~上中の新たな成長と飛躍を目指して~

校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

謹んで新春のお慶びを申し上げます

旧年中は保護者の皆さま並びに地域の皆さまには、大変お世話になり厚く御礼申し上げます。新しい年が皆さまにとって幸多き年となりますよう願っております。本年も、本校の教育活動にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2025年は巳年となりますが、再生と成長のシンボルとして縁起の良い年とされています。ヘビが脱皮するように、新しい自分に出会える年になるとも言われています。また今年、中国の暦法である十干十二支で60年に一度の「乙巳（きのと・み）」に当たる年で、「乙」は植物が芽を出して伸びる様子、「巳」は成長のピークを表すと言われ、新たな成長と飛躍の年でもあると考えられているのだそうです。乙巳の年に起こった過去の出来事には645年の「乙巳の変（中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を滅ぼした政変）」が挙げられます。不易流行という言葉がありますが、いつまでも変化しないものを大切にしながらも、時代の流れに合った新しいことも積極的に取り入れながら、生徒たちの笑顔であふれ、「エージェンシー（予測困難な時代の中で、自ら学び、自分の頭で考え主体的に行動する力）」を発揮できる学校を目指して教職員一同邁進してまいります。

12月18日(水)に第2回学校運営協議会を開催いたしました。初めての試みとして、生徒会本部役員3名が同席し、生徒の立場で発言する機会を設けました。今回の協議会の熟議では、テーマを「学校評価を受けて並びに生徒の参画について~学校・家庭・地域がより連携を深めるために~」としました。2学期に実施した「学校評価」では、生徒並びに保護者アンケートについては学習面での課題はありますが、概ね高い評価をいただきました。一方で、地域アンケートでは、多くの項目で「分からない・答えられない」との回答があり、学校での取組が地域の皆さまに十分周知できていないことが分かりました。そこで、本テーマを基にそれぞれの立場から意見を出し合い、生徒会本部役員による地域との連携についての検討、小学校とも連携していくこと、地域行事やイベントへの中学生の積極的な参加に向けた広報等の方向性となりました。まとめとして、本協議会副会長である大久保東公民館長様から、「家庭と学校が縦と横で繋がっている中、地域がその間の斜めに入ることで、家庭と学校をさらに繋げる役割ができればと思います」とのお言葉をいただきました。今後も地域に愛される上中を目指してまいりますので、引き続き、様々なお声をお聞かせいただければ幸いです。



第2回学校運営協議会
(R6.12.18 実施)

3年生はいよいよ私立高校入試を皮切りに本格的な受験シーズンに入ります。また、2年生も月末に館岩自然の教室を控えています。生徒たちの力が十分発揮できることを期待しています。



みんなの防災まつり~炊き出しカレーにチャレンジ!!~

12月14日(土)に、レッズランドにおいて「みんなの防災まつり」が開催され、本校生徒7名がさいたま市備蓄用アルファ米を使った炊き出しカレーに取り組みました。試食用200食分を用意するため、野菜や肉を切るところから始める本格的なカレー作りにチャレンジしました。なかなか火がつかず、予定よりも遅くなったの完成とはなりませんが、このカレーの試食を楽しみにしていた方々がたくさんいらっしや、一時はかなりの行列になりました。試食をされた皆さんから、「おいしい!!」という声が多く聞かれ、調理に当たった生徒たちも「楽しかった!」との感想がありました。

今回の「炊き出しカレー」の取組は、8月から始まった大久保東公民館主催の防災講座「目指せ!地域の防災マスター」全3回のカリキュラムの一つでもありました。最終日のこの日、6名の生徒が「大久保地区地域防災マスター」の認定証をいただきました。本年度初めての取組ではありましたが、意欲的に講義や体験に意欲的に参加してくれました。

いざという時に地域で貢献できる人材の育成を目指し、来年度以降も公民館をはじめ各関係各所と連携しながらこの活動を長く続けていきたいと考えております。